

城乾地区

別紙MAP
D-6、E-6



- 遺跡・史跡、歴史上の名所
- 神社・仏閣、歴史的建造物
- 歴史上の人物など
- 祭り・伝統行事
- 美術品
- 伝統芸能など
- 景勝
- 生物・花
- 町並み
- etc その他

0m 250m 500m

大年神社(新在家本町)



建武年間に八代大歳神社より勧請。現在新在家6町の氏神として祭礼を行う。秋の祭礼は10月第2土・日、ほかに元旦祭1月1日、節分祭2月3日、湯立祭7月13日、千灯明祭9月10日または11日、除夜祭12月31日。



西八代地蔵尊



西八代のお地蔵さんの全盛期は徳川時代(11代将軍家斉)のころだが、創建はそれより以前と伝わる。境内にある石灯籠には文化3年(1806)、石の花立てには天保6年(1835)とそれぞれ刻まれている。



男山



ふもとから山上まで石造の階段道(194段)を登ると、昭和2年に標高59mの山上を7m切り取って作った水道用配水池が、現在は公園になっている。姫路城天守の足元の三角点が45.7mなので、天守群が同じ水準で見える。



八丈岩山



標高172.9m、山上の八丈岩の上から眼下に市内を一望できる。「播磨国風土記」によれば14の丘の伝説が残る因達神山とされ、大汝命が、その子、火明命を棄てて逃げようと船を着けた所。



共同井戸



この地に新在家の里ができた数百年の昔から、生活用水として無くてはならぬ存在で、現在も澄み切った清水が湧いて出る。播磨50水に数えられている。



深田遺跡



弥生時代の遺跡。姫路高等学校が辻井に移転し、城乾小・中学校建設の際、発掘調査が行われ、弥生土器をはじめ土師器や須恵器など多数が出土。城乾小学校正門前に記念碑がある。



千姫天満宮



男山千姫天満宮とも呼ばれ、姫路城の北西に位置し、城を一望する男山の中腹にある。元和9年(1623)本多忠刻と再婚した千姫が、本多家の繁栄を願って建立。平成14年に社殿が新築され、唐破風造りの流麗優美な姿になった。



望景亭



現在は文学館の施設になっている望景亭は、紡績会社社長、浜本八治郎が、16年の歳月をかけ昭和4年に完成した大邸宅「男山荘」。邸内に大阪城残石、庭の手洗い石として見野廃寺の塔心礎が転用されている。



道標(八代本町二丁目)



現在、八代公民館前に移設保存されている。八代本町一丁目と八代本町二丁目の境界道は、中世以後の山陽道のルートであったと考えられ、大正時代までは重要な道であった。



紡績会社水路跡



明治8年ごろ開校した「白川学校」跡に、姫路木綿を再興しようと明治13年に設立された官営工場。イギリス製の紡績機を購入、水車と蒸気機関を動力源としたが、後に民間に払い下げられた。現在は船場川に水路跡だけが残る。



1 地域夢プランの歩み
～はじまりから～

2 地域夢プランのかたち
～取組の類型化～

3 地域夢プランのとらえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(1) 「姫路市地域夢プラン」の概要

3 地域夢プランのとらえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(2) 地域資源を活用したまちづくりと展望

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(1) 地区ごとの主な地域資源

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(2) 地域資源一覧

10

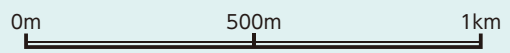
ひろみね

広峰地区

別紙MAP
E-6



- | | | | |
|--|------------------|--|------------|
| | 遺跡・史跡、
歴史上の名所 | | 伝統芸能
など |
| | 神社・仏閣、
歴史的建造物 | | 景勝 |
| | 歴史上の
人物など | | 生物・花 |
| | 祭り
伝統行事 | | 町並み |
| | 美術品 | | etc その他 |



梅ヶ谷地蔵



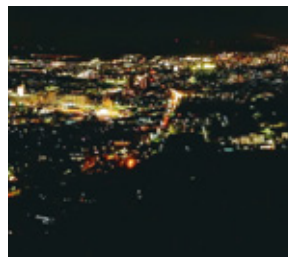
梅ヶ谷地蔵尊は約千年前の古作とされ、座高2尺の小型の地蔵尊である。延命地蔵尊を中央に、右に子授地蔵尊、左に知恵地蔵尊を配し、悲願成就に多くの人々の参詣がある。地蔵尊がある石段下に、いつも変わらないぬ水位を保つ清水がある。



広嶺山からの夜景パノラマ



広嶺山からは、姫路市街地を中心とした雄大な夜景を楽しむことができる。



御師の活躍と黒田家の目薬



御師は廣峯神社の御札を信者に配布して歩く布教者。檀那衆や参拝者のために神前で祈禱を行い、守札・暦・目薬等を配布していた。黒田家に伝わる目薬が御師によって配布されている様子は「播磨灘物語」に描かれている。



廣峯神社



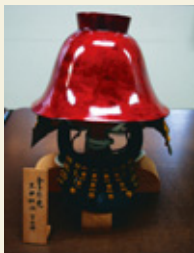
2千有余年前の太古、崇神天皇の御代に素盞鳴尊とその御子神で五十猛尊が白幣山に鎮座されたと伝わる。聖武天皇の御代、この地を訪れた吉備真備(さびのまさび)公が信託を受け、現在の奥の院、吉備社がある位置に社殿を建立。



黒田官兵衛孝高の生涯(心光寺)



黒田官兵衛孝高は、秀吉を助け、天下人とさせた知将。信長、秀吉、家康と天下が移り変わる中を、常に深く関わり、先見性・洞察力に富んだ確かな目で、59歳の生涯を全うした。筑前福岡藩52万石の藩祖。心光寺は黒田家の姫路時代の菩提寺。



廣峯神社は京都の祇園社の本社



貞観11年(869)畿内外に疫病が大流行した。清和天皇の夢枕に「廣峯神社の御分霊を京都にお迎えして、祈禱せよ」とのお告げがあり、早速お祀りすると疫病は治まったとある。この時に廣峯神社の神を京都の祇園社に分霊した。



姫路公園競馬場



姫路競馬場は姫路公園競馬場として市民一般に開放されている。幼稚園児達が散策を楽しんだり、サッカーの練習等中央の芝生広場を使用することもできる。



御輿塚古墳



北平野奥垣内にある。広嶺山麓の台地上に築かれた径15m、高さ3mの円墳で、南に開口する横穴式石室を有する古墳。この古墳は安土桃山時代から書物に載せられ、石棺は「神の乗る輿」と伝わる。



姫路獨協大学



全国初の公私協力方式の大学。昭和62年に姫路の西北の地、上大野に設立された。外国語学部、法学部、経済情報学部、医療保健学部、薬学部があり、約2,200名の学生が学んでいる。



陸上自衛隊姫路駐屯地



姫路駐屯地は、旧陸軍第10師団編成に伴い、明治30年に設立。幾多の改変を経て、現在では、第3特科隊、第3高射特科大隊等が駐屯し、概ね県下一円を防衛・警備及び広報隊区とし「地域と共にある」駐屯地として活動している。



1 地域夢プランの歩み
～はじまりから～

2 地域夢プランのかたち
～取組の類型化～

3 地域夢プランのとりえ
～検証と未来へのアプローチ～
(1) 「姫路市地域夢プランの概要」

3 地域夢プランのとりえ
～検証と未来へのアプローチ～
(2) 地域資源を活用したまちづくりと展望

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(1) 地区ごとの主な地域資源

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(2) 地域資源一覧

大歳神社(大日)



祭神は稚産霊神・倉稻魂神。北条時頼が再興し、後に慶雲寺の鎮守となる。また、姫路城の鬼門として池田輝政が信仰していた。方広寺の鐘の鑄造を指揮した野里の鑄物師(いもじ)芥田五郎衛門が、支配役として奉仕した神社でもある。



大歳神社(保城)



祭神は大年神。古来横手村に鎮座。山陽自動車道の増位山トンネル入口の上にある。保城の小字横手の氏宮。石鳥居、燈籠、手洗石など、江戸時代後期の石造品が多く残る。現社殿は平成5年10月に再建された。



勝松神社



祭神、金山彦命。もとは赤松政則建立の勝松寺という禅寺の鎮守として祀られたもので、昔は弁財天を祀っていたが、天正年間に別所の兵火に寺は焼失し、以後勝松神社となった。唐人図をはじめ干支子絵馬や拝み絵馬が多く残る。



河合寸翁「はぜ」の跡



江戸時代末期、河合寸翁は姫路藩の財政改革の一環として「はぜ」を市川の土手に植え、ろうをとり口ウソクを専売しようとしていた。その名残りの木で、秋に紅葉する。



佐野源左衛門の墓



鎌倉時代・謡曲の「鉢の木」に出てくる人物である。佐野は最明寺の普請奉行として尽力した。この功績に報いるために墓が建立されたという。昭和4年「姫路市街全図」にも見られ、明治時代の初期にはあったといわれている。



船場川 大樋

etc

往古の市川は、幾筋にも川が流れ今の船場川が本流であった。度重なる洪水被害に江戸時代の初期に、現在の市川筋が本流に切り替わった。船場川は農業用水、姫路城の中堀や外堀にも利用され、市川からの取水口として「樋門」が建設された。



船場川 高瀬舟

etc

姫路城主本多忠政が当時市川の本流であった船場川を改修し、飾磨津から現在の市川町あたりまでの高瀬舟による物資運搬の船運を開いた。保城や西中島に船着場が設けられ、大樋にある倉庫に高瀬舟に似た船が保存されている。



大日地蔵(最明寺)



法道仙人の開基で、鎌倉時代北条時頼が再建したため、時頼の出家後の号から「最明寺」と称した。往古は大規模な境内であったが、戦火で焼失し現在の姿となる。市川川原刑場の刑死者を弔う供養塔や修因地蔵がある。



日吉神社(野里北野町)



祭神は大己貴命・大山昨命。随願寺の鎮守として山王権現と称した。天正の兵火(別所長治の侵攻)で焼失。明治元年に「日吉神社」と改称した。小児の神様として近在近郷に知れ渡っていた。



法林寺



無量山法林寺は、真宗大谷派(浄土真宗東本願寺派)の寺院。了伝の開基で、創立は享禄5年(1532)と延宝2年(1674)の二説がある。親鸞上人を宗祖とし、ご本尊は阿弥陀如来立像の由緒ある寺院。



1 地域夢プランの歩み
〜はじまりからこれまで〜

2 地域夢プランのかたち
〜取組の類型化〜

3 地域夢プランのとりえ方
〜検証と未来へのアプローチ〜
(1)「姫路市地域夢プランの構築」

3 地域夢プランのとりえ方
〜検証と未来へのアプローチ〜
(2)「地域資源を活用したまちづくりと展望」

4 地域資源の全リスト
〜地区からの情報発信〜
(1)「地区ごとの主な地域資源」

4 地域資源の全リスト
〜地区からの情報発信〜
(2)「地域資源一覧」

12

増位地区

別紙MAP
E-6



有明の峰 増位山



増位山は、平安時代、日本を代表する歌人が散策し、和歌を詠んでおり「有明の峰」と呼ばれている。在原業平や西行法師の和歌が残っている。構居(山城)があった。



随願寺 開山堂



承応3年(1654)に建立。行基菩薩坐像(市指定文化財)を祀る。随願寺に現存する最古の建造物。国指定重要文化財。



佐伯神社



祭神は、当地(白国)の始祖「稲背入彦命」の曾孫の阿良津命。阿良津命は、播磨地方において初めて国造に任ぜられた。更に佐伯直の姓を賜った。当地方の政治を担当した豪族。



随願寺 修正会追儺式



修正会は天下泰平・五穀豊穰を祈る仏教行事。追儺会は結願行事。本堂中陣で、薬師如来の化身の「空鬼」、御幣をもつ「子鬼」、毘沙門天の化身の「赤鬼」、不動明王の化身の「青鬼」が鬼踊りを踊る。毎年2月11日に行われている。



榊原忠次墓所の唐門



姫路城主榊原忠次の墓所に享保16年(1731)に建立された正門。垂木鼻、拳鼻、棧唐戸、柱等の随所に楔金具の痕跡があり、きらびやかな建物であったことがうかがわれる。国指定重要文化財。



随願寺 毘沙門天立像



平安時代に造られた木造の仏像。像の各部が調和し躍動的である。明治34年に旧国宝、昭和25年に国の重要文化財に指定された。収蔵庫に安置されており、特別の時に公開される。



白国山・高松寺



寛元2年(1244)、白国政所の白国禅正左衛門宗直が創建。本尊は聖観世音菩薩。当地の支配者の更迭により寺の衰えもあったが、延宝4年(1676)、快山法師によって寺運が建て直された。



随願寺 本堂



今の本堂は1692年に姫路城主榊原忠次が再建。薬師如来坐像(県指定重要文化財)を本尊に祀る。天井画「天人」、「龍」、「鳳凰」は、狩野探幽(1602~1674)の筆といわれている。



白国神社



213年に創建された播磨四の宮の一つ。祭神は神吾田日津賣命。阿屠武命の妻・高富媛がお産で苦しんだ時、神吾田日津賣命を祀り祈願したところ安産であったことから社殿を設けた。安産の神様として有名。



増位山・随願寺



播磨天台六山の寺。聖徳太子の命により、高麗の僧・慧便の開基と伝わり、天平年間に、行基が中興し、山上に36坊がある大寺であった。1573年別所長治によって全山焼失したが天正14年(1586)に羽柴秀吉が再興した。



1 地域夢プランの歩み
～はじまりからこれまで～

2 地域夢プランのかたち
～取組の類型化～

3 地域夢プランのとりえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(1) 「姫路市地域夢プラン」の概要

3 地域夢プランのとりえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(2) 地域資源を活用したまちづくりと展望

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(1) 地区ごとの主な地域資源

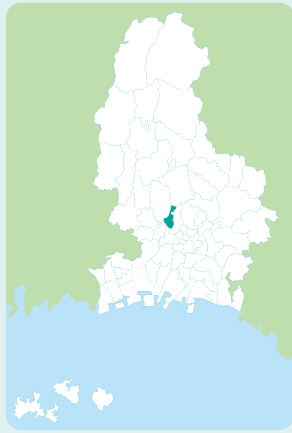
4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(2) 地域資源一覧

13

やすむろ

安室地区

別紙MAP
D-6



-  遺跡・史跡、歴史上の名所
-  神社・仏閣、歴史的建造物
-  歴史上の人物など
-  祭り 伝統行事
-  美術品
-  伝統芸能など
-  景勝
-  生物・花
-  町並み
-  etc その他

0m 500m 1km

稲田山善覚寺



赤松氏の後胤稲田備中守善教の三男主馬之介義信は、書写山麓に一万石を領していたが、故あって出家し、書写山で修行の後、滋賀県坂本に草庵を結んで仏の道に専念した。その後、本国に帰り、田寺村善覚寺を興したと伝えられる。



御立住吉神社



長保4年(1002)花山法皇が書写山へ行幸の時、船で飾磨港に着き、国司の小野道忠朝臣・播磨宿禰巨智延昌らが案内したが、途中で降雨が激しく当地に滞留になった。そのためにこの地を御館と称し、住吉大神を祀った。



光明山勝瑞寺



勝瑞寺の寺号は浄土真宗東本願寺の初代教如上人より賜ったものと伝わる。この寺の梵鐘は明応6年(1497)に姫路野里の鋳物師の藤原勝久・宗久が廣峯神社の鐘として鋳たもので、寛政6年(1794)に勝瑞寺に移した。



御立山と記念碑



「播磨国風土記」に、応神天皇がこの丘に立って地形を見られたところから「オオタチガオカ」と名付けられ、御立山(通称前山)と呼ばれるようになったとある標高70mの独立丘。



四軒屋地蔵尊



寛保2年(1742)の飾西郡御立村明細帳に「鹿谷道」と「書写道」の別れに石地蔵があると記されている。この石地蔵の台座の正面に「左志よしや道、右かや道」ときざんであり往来みちの道標であったことがわかる。



薬師堂と薬師如来像



薬師如来像は、高さ72.57cmの木造坐像で、郷土史研究家の故大貫繁次氏によると室町時代中期の作といわれる。この薬師如来は昔高取山西南端(現唐立団地西上)に長尾寺があってこの寺に祀られていたという。



大日如来像



通称「大日さん」と呼ばれ弘法大師・行者神変大菩薩・大日如来・大日大聖不動明王の四体が祀られている。後記三体は高取山西南端(現唐立団地西上)にあった「長尾寺」に祀られていたという。



横関道標



横関橋東詰にある。書写山への順礼者のために建てられた道標で、道標頭部には両手を広げて南を向いた観音坐像が刻まれ、左手の指し示す下に「ほつけさん・ひろみね山」、右手の指し示す下に「しよしや道」とある。



田寺常夜灯



この灯籠は、日露戦争従軍者の献灯によるもので、側面に十一名の従軍者の氏名と大正三年初春建立とあり、正面には「真輝」と刻まれている。



六本松の道標



この道標の北正面には「左姫路宿屋町江二十五丁」右側には「右車崎六丁目道」左側には「従是書写山江二十丁」と刻まれており、南面には文久2年(1862)と記されている。古来より書写道・鹿谷道に通じている唯一の古道。



1 地域夢プランの歩み
～はじまりから～

2 地域夢プランのかたち
～取組の類型化～

3 地域夢プランのとらえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(1) 「姫路市地域夢プラン」の構築

3 地域夢プランのとらえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(2) 地域資源を活用したまちづくりと展望

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(1) 地区ごとの主な地域資源

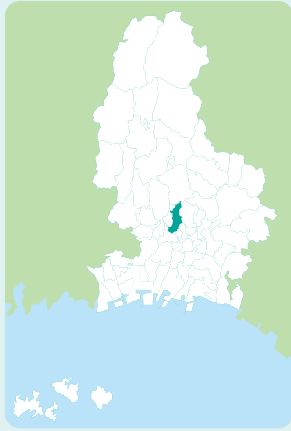
4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(2) 地域資源一覧

14

やすむろひがし

安室東地区

別紙MAP
D-6

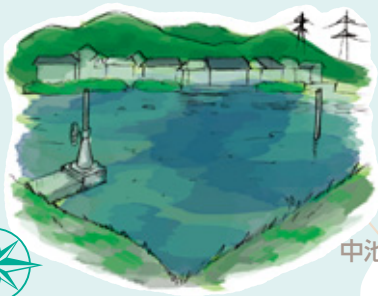


山陽自動車道

薬師堂

北山古墳

北山の道標



大池 etc
中池 etc

山田荒神社



- | | |
|------------------|------------|
| 遺跡・史跡、
歴史上の名所 | 伝統芸能
など |
| 神社・仏閣、
歴史的建造物 | 景勝 |
| 歴史上の
人物など | 生物・花 |
| 祭り
伝統行事 | 町並み |
| 美術品 | etc その他 |

東山観音堂



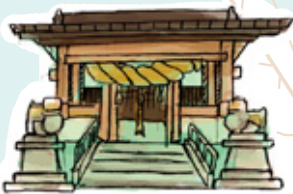
高岡神社

◎安室中学校
◎安室東小学校



姫路高

行矢神社



辻井遺蹟



辻井廃寺の礎石

0m 500m 1km

大池・中池

大池の落ち口から郷内溝が通じ田寺、辻井、今宿の灌漑用水として利用されている。昔から干害時には水争いが起こり、一間宗五郎の墓の上には、水争いで亡くなった功労者3名の墓が建っている。



etc

辻井廃寺の礎石

白鳳時代の寺跡で、この石は大きな塔の中心基礎石であり、辻井字藤ノ木の田の中に残っている。昭和10年頃までは6間四方の草地であった。里道を農道に広げる時、草地の土を利用するため掘り起こした際発見された。



北山古墳

道標のある山道を100m程行くと左手に「北山古墳」と書いた木柱がある。2.3mの小高い土盛りがあり、横の穴から覗くことができる。1400～1500年前のものと推定される。この古墳の東北山麓には多くの古墳跡が見られる。



東山観音堂

東山観音堂は、書写山圓教寺の分流と伝えられ、もとは現在の善覚寺の位置にあったが、善覚寺建立のため大永7年(1527)に東方の東山へ移築し、東光山観音と称して久しく村民尊崇的のとなっていた。



北山の道標

山道を登ると北山古墳がある。その途中に2基の道標があり、それぞれの面には、書写山、鹿谷道、ひろみね、ほっけ山、たつの、むろつ等の地名が方位面に刻まれている。いずれも安政時代に設置。



薬師堂

薬師如来像は高さ72.57cmの木造坐像。郷土史研究家の故大貫繁次氏によると室町中期の作といわれる。この像は昔高取山西南端(現唐立団地西上)にあった長尾寺に祀られていた。毎年4月8日れんげの花につつまれた法会が行われる。



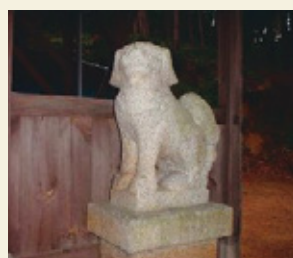
高岡神社

高岡神社は、蛤山の高岳神社(延喜式内社)の分社として明治4年に当地の大谷口に遷宮し、田寺村の氏神として鎮座になった。したがって祭神は高岳神社と同じく、仲哀・応神天皇をはじめ八柱の神々が祀られている。



山田荒神社

祭神は奥津彦命・奥津姫命で、火の神として地区の人々の厚い信仰がある。江戸時代後期、天保年間に灯明運動が始まってから約170年間、氏子が当番制により毎晩、常夜燈の火をともし運動が現在も守り続けられている。



辻井遺蹟

辻井廃寺跡地から少し東の田の中から2千年から1万年前の土器・石器が多数発見された。昭和15年、考古学者今里幾次が田の水口付近で約4千年前の仰臥屈葬の男性遺体を発見。この人骨は新聞にも報道され一躍この遺蹟が有名になった。



行矢神社

「播磨国風土記」に、八丈岩山に因達神(射楯神)がおられるから、この山の付近を因達里という。南麓の矢落の人は、この神と南にある秩父山に祭られた兵主神(大汝命)の二神を行矢神社に祭った。



1 地域夢プランの歩み
～はじまりから～

2 地域夢プランのかたち
～検証と未来へのアプローチ～
「取組の類型化」

3 地域夢プランのとらえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(1) 「姫路市地域夢プランの概要」

3 地域夢プランのとらえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(2) 地域資源を活用したまちづくりと展望

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(1) 地区ごとの主な地域資源

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(2) 地域資源一覧

15

た か お か

高岡地区

別紙MAP
D-6



- | | | | |
|--|------------------|--|------------|
| | 遺跡・史跡、
歴史上の名所 | | 伝統芸能
など |
| | 神社・仏閣、
歴史的建造物 | | 景勝 |
| | 歴史上の
人物など | | 生物・花 |
| | 祭り
伝統行事 | | 町並み |
| | 美術品 | | etc その他 |

0m 500m 1km

旧山陽道



西国街道・中国路とも呼ばれ江戸時代の主要街道の一つで五街道以外の脇街道ではあったが、重要性の高いものであった。姫路城下を西に進んで、夢前川を渡り青山へと向かう。今も古い町家が点在して、往時の街道筋の名残りをみせる。



名古山仏舎利塔

etc

名古山には明治時代に入り、日清・日露戦争の死者を葬る陸軍墓地がつくられ、現在でも墓地公園として利用されている。山上にはインドのネール首相から贈られた仏舎利を納める高さ38mの仏舎利塔が建てられている。



西源寺の東山焼燈籠



東今宿の西源寺の境内にある全高225cmの東山焼燈籠。燈籠台部分上方に「法勝寺(六勝寺の一つ、白川法皇御願の寺)の執行俊寛僧都自宮の燈籠・・」と、燈籠の由来などが記されている。



名古山弥生式遺跡



名古山東斜面から弥生時代中期末の竪穴式住居跡・土壇墓・壺棺墓等が発見された。中でも住居跡内から出土した袈裟襷文銅鐸の鋳型(砂岩製)は、わが国最初の出土例として学会に大きな反響を呼んだ。



高岳神社



延喜式(10世紀)に記載された古社。「播磨国内鎮守大明神記」には、太神二拾四社の中に高岳太神、播磨国内八所明神の第五の宮とあり、安室郷の総氏神だった。初め、安室郷新在家八丈岩山「鷹が巣」に鎮守されたが、蛤山に遷した。



西今宿地藏堂と力石



観音堂の南に地藏さんがあり、その前に5個の力石がある。その一つに「明治卅七年二月 当村 八ツ頭勇太郎持之」と刻まれている。



高岳神社蛤岩



高岳神社のすぐ北の山頂にある高さ10mにもおよぶ大岩。大岩の上の少しくぼんだ所にたまった水が潮の干満と同じように上下するという話が伝わる。また、この岩山やその周辺で蛤の化石が発見されたという。



東今宿薬師堂と力石



薬師瑠璃光如来の略称である。また医王ともいわれ右手は施無畏印をつくり、左手は膝の上で薬壺を持つ像が多い。お堂脇には5個の力石がある。



飛出地藏と棕の木



承安時代(1170年代)小塩川(水尾川)は度々氾濫した。被害を防ぐため高土堤を造る工事で地藏様が飛び出たため、飛出地藏と名づけたと伝わる。堤の流出を防ぐため植えられたのが地藏の傍らにある棕の木で、樹齢700余年にもなる。



山吹墓地万霊塔



万霊塔は、万霊塔自体が仏教で有情と呼ばれているところの、この世の中における生命あるものごとく、この塔の廻向することによって万霊を供養することを目的とし、寺院境内、墓地、路傍などに造立されている。



1 地域夢プランの歩み
～はじまりからこれまで～

2 地域夢プランのかたち
～取組の類型化～

3 地域夢プランのとらえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(1) 「姫路市地域夢プランの構築」

3 地域夢プランのとらえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(2) 地域資源を活用したまちづくりと展望

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(1) 地区ごとの主な地域資源

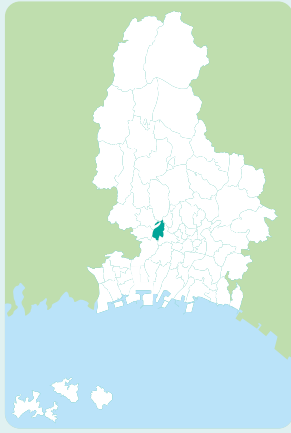
4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(2) 地域資源一覧

16

たかおかにし

高岡西地区

別紙MAP
D-6



- | | | | |
|--|------------------|--|------------|
| | 遺跡・史跡、
歴史上の名所 | | 伝統芸能
など |
| | 神社・仏閣、
歴史的建造物 | | 景勝 |
| | 歴史上の
人物など | | 生物・花 |
| | 祭り
伝統行事 | | 町並み |
| | 美術品 | | etc その他 |

国道2号



古くは西国街道、近世では山陽道、現在は国道2号と時代とともに街道の様相は変わるが重要性は変わらない。旧山陽道に沿って東西に通過する国道2号は交通量が多く、西今宿で東行きの国道2号と西行きの十二所線に別れる。



下手野地蔵様



下手野町中央に鎮座する地藏尊は、古くから町民の尊崇の中心で心のふるさともある。最初は下手野字宮ノ前40番地、当所地籍7坪実測地籍14坪と大変大きなものであった。昭和16年に来法寺から現在地に移転したと思われる。



下手野常夜燈



旧山陽道が夢前川にさしかかる旧堤防上にある。ここに夢前川の渡し場があった。下手野村は姫路藩の助成宿場で、御船置場、一里番所、川会所などが設けられ、常夜燈の台石に刻まれている桔梗屋をはじめ9軒の宿屋があった。



下手野道標



この道標は、下手野の旧山陽道から因幡道・龍野道へと分岐するところに建っている。明和4年(1767)、円光大師二十五霊場の一つである誕生寺に巡礼する者のために建てられ、今宿からつづいた宿場として発達した。



正行寺



浄土真宗本願寺派の寺院。慶安5年(1652)8月24日良如上人より木仏を下附されたたとある。文政3年(1820)、改築普請をしたい旨を大阪御着所宛に願い出て許可されたが、明治2年以降ようやく施工して現在に至る。



蛤山



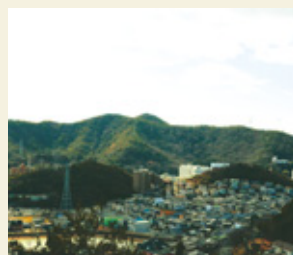
蛤山は、播磨国五ノ宮であった高岳神社が鎮座、盤座としても名高い山である。高岳神社の御神体になっている大岩に蛤の化石が出るとか、この付近一体に蛤の化石があるとかいわれ、御神体の岩を蛤岩といい、この山を蛤山という。



鬢櫛山



「播磨国風土記」の伊和里の火明命にまつわる伝説に十四丘の一つに匣丘があり、鬢櫛山に比定されている。また、鬢櫛山は、石材の産地としても知られ、「播磨鑑」によれば姫路城築城時の石材はこの山からも採ったという。



船越山



「播磨国風土記」にある匣丘(くしげおか)は船越山という説もある。梳匣(くしげ)は、古代の女性が櫛や髪飾りなどを入れた箱のことで、大汝命の船が難破して積荷の匣とよばれる化粧箱が落ちた所を匣丘と名づけたと伝わる。



安室神社



明治12年飾磨郡神社明細帳によると、祭神は蛭子命(中世以降恵比寿として尊崇)、由緒、創立年月日は不詳。境内は483坪で夢見神社(祭神奥津姫命)と富貴神社(祭神倉稻魂命)の二柱があり、その規模は共に方3尺である。



来法寺



法水山来法寺は、元和3年(1617)10月大圓により開基され、寛文年中(1660年頃)貞照院にしたがい東派に帰した真宗大谷派の寺院である。京都本願寺の末寺である。



1 地域夢プランの歩み
～はじまりから～

2 地域夢プランのかたち
～取組の類型化～

3 地域夢プランのとりえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(1) 「姫路市地域夢プランの概要」

3 地域夢プランのとりえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(2) 地域資源を活用したまちづくりと展望

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(1) 地区ごとの主な地域資源

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(2) 地域資源一覧